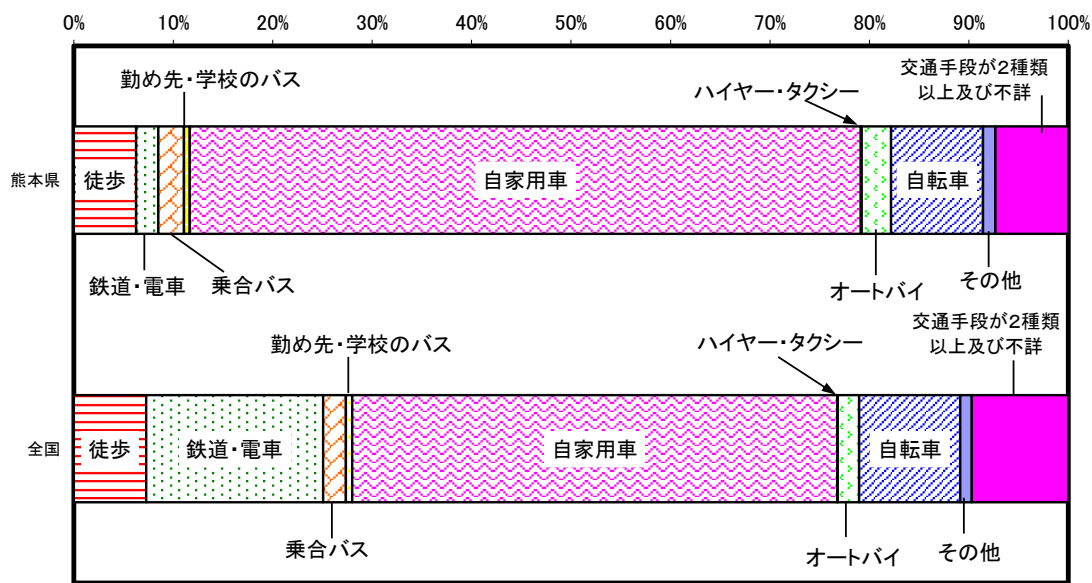


通勤・通学方法（利用交通手段が1種類の場合・令和2年）



解 説

【概要】

令和2年の県内の通勤・通学者は約784千人であった。そのうち、交通手段が1種類のみの者の利用交通手段をみると、自家用車が67.5%を占め、次いで自転車が9.2%を占めていた。

また、全国と比較すると、本県は鉄道・電車が極端に少ない一方で、自家用車通勤が多い結果となった。

注：この調査項目は、国勢調査の大規模調査（10年に1回）の年に実施

- 徒歩だけの通勤・通学者割合
徒歩だけで通勤・通学をする15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100
 - 鉄道・電車利用の通勤・通学者割合
通勤・通学の手段に鉄道・電車を利用する15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100
 - 自家用車利用の通勤・通学者割合
通勤・通学の手段に自家用車を利用する15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100
 - 自転車利用の通勤・通学者割合
通勤・通学の手段に自転車を利用する15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100
- 注）通勤・通学をする15歳以上人口は利用交通手段「不詳」を含む。

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	10年 (大規模調査年)